

# わが里で 生まれ育てた 郷土品 第10回大館市郷土品まつり

十一月三日から五日まで「わが里で 生まれ育てた 郷土品」をテーマに、第十回大館市郷土品まつりが開催されました。好天に恵まれたこともあって、会場となった市民体育館や城西体育館などを訪れた人は延べ四万千人。各会場には、大館の伝統工芸品や新しい感覚をとり入れた商品、品質の優れた農産物などが展示され、訪れた人たちの関心を集めていました。

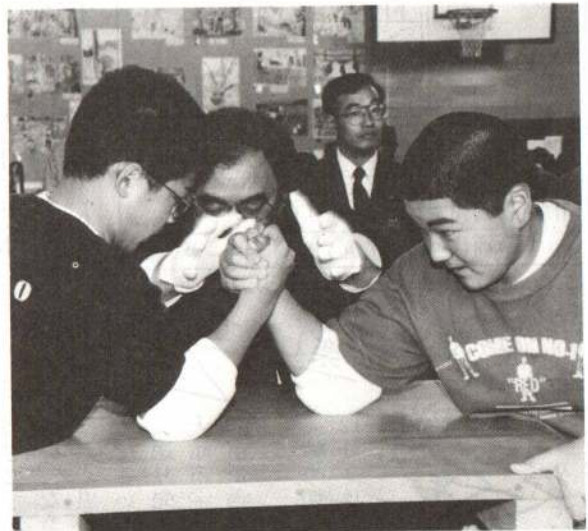
▶市民体育館で行われた商工展には、一日平均七千人もの人たちが訪れました。



▲新地場産業として売り出し中の「黄金のふるさと」コーナー。やっぱり、足を止めるのは女性が多いようでした。



「お父さん、これなに？」 「これはね、大館特産の「山の芋」だよ。」



▲農協まつりで行われた腕相撲大会。審判の合図とともに、全身の力を振り絞って腕つぶしの強さを競い合いました。

▶婦人会館まつりの不用品バザー。良品を安く買えるとあって、開店前から待っている人もいました。

